

第33回廃炉・汚染水対策現地調整会議の概要

1. 日程

日時：平成28年6月9日（木） 9：45－11：45

場所：いわきワシントンホテル 3階「アゼリア B」

2. メンバー

政府：（議長）：高木原子力災害現地対策本部長（経済産業副大臣）

後藤原子力災害現地対策副本部長

復興庁：白井次長（福島復興局）

文部科学省：村山廃炉技術開発企画官

環境省：二村水環境課長

国土交通省：小俣河川環境課長

水産庁：山尾研究指導課課長補佐

廃炉・汚染水対策チーム：田中事務局長補佐、尾澤事務局長補佐

秦対策官、柿崎企画官

廃炉・汚染水対策現地事務所：生越所長、木野参事官、本田調整官

小野対策官

原子力損害賠償・廃炉等支援機構：松永現地事務所長

東京電力：新妻福島復興本社副代表、増田プレジデント、有馬バイスプレジデント

福島県（オブザーバー）：酒井主管

規制当局 原子力規制庁：山田審議官、持丸調整官

3. 結果概要

（1）議長冒頭挨拶

○本日も、御多忙の中、お集まりいただき感謝申し上げます。

○本年も梅雨の時期を迎え、大雨により発生する様々な問題に取り組まなければなりません。しかしながら、この時期に向けて取り組んできましたフェーシング、構内排水路、陸側遮水壁等の様々な対策の効果が発揮される時でもあります。

○本日、本格的な梅雨に向けた対応の状況についても説明を受けたいと思いますが、万全の準備と心構えで臨み、最善の結果が出せますように関係者一同で取り組んでいきたいと思っております。

○陸側遮水壁については、3月末のフェーズ1の開始以降、既に凍土壁内外の水位差が表れてくるなどの効果が現れ始めてきています。さらに、6日には山側の大半まで凍結範囲を拡大するフェーズ2へと移行していますので、本日は補助工法の実施状況と併せて詳細な報告を受けたいと思っております。

- また、1号機建屋カバー解体について、本年2月の散水設備の工事開始以降も作業は着々と進んでいますので、本日は直近の状況について報告を受けるとともに、今後のカバー解体の進め方について丁寧な説明を受けたいと思います。
- この他にも、地下貯水槽の残水の汲み上げ開始後の状況、最近の発生事象の調査状況などについて報告を受けたいと思いますので、宜しく願いいたします。

(2)会議概要(主な指摘事項)

議題4 資料1-4

- ダストモニタの発報について、帰還を考える方が多いとは思う。誤った発報があると帰還を考えている方に不安を与えてしまう。機器の信頼性をもっと高くするべきではないか。
- 構内が綺麗になって構外が汚くなっていることも考えられる。構外からの影響を抑制することも重要ではないか。そもそも誤った発報を出さないような状況を作ることが重要ではないか。

議題5・6 資料2

- 凍土壁の効果については、地下水の動き等を、しっかりと管理・分析し、早く次の段階へ進んでもらいたい。
- 補助工法が誤った認識をもたれている。水位差の関係も丁寧に説明が必要。理解をしていない人もいるので、今後はわかりやすく説明していただきたい。
- 第一原子力発電所の現場も通常の現場であるという認識を持ち、長時間労働の縮減等、しっかりと指導をしてほしい。

(3)次回以降の日程

- 次回は7月開催。詳細の一定は決定次第、事務方より連絡。

(以上)